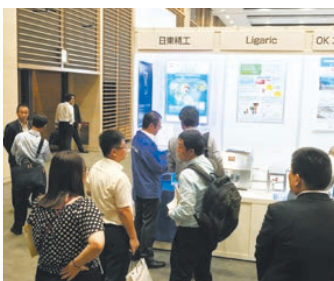


国内外の展示会で日東精工の 高い技術力や優れた製品を訴求していきます

毎年秋から冬にかけては展示会が目白押しです。当社では展示会を既存のお客様にはより技術や製品を理解していただき身近に感じていただく交流の場として、また新しいお客様を獲得する出会いの場として、さらには業界の動向や世の中のニーズを学び、お客様満足度120%達成のための情報収集の場として、積極的に出展しています。

まず9月28日から29日までグランフロント大阪で開催された「Aqua KANSAI 2017」に出展しました。当社のマイクロバブル洗浄装置「バブ・リモ」は工業製品・モノづくりの現場では不可欠な「洗浄」において、化学合成物質を必要としない、環境に配慮した画期的製品ですが、この技術をより幅広く応用・展開することを可能にした「マイクロバブル生成装置」を新たに開発しました。そしてこの「マイクロバブル生成装置」が「ファインバブル産業会(FBIA)」から国内初の性能認証を受けたこともあり、「FBIA」の協力を得て、ブース展示したものです。

これまでの工業用洗浄用途だけでなく、たとえば野菜の栽培、魚の養殖、あるいは家庭のお風呂やシャワーなどにも応用できることから、農業、漁業あるいは住宅関係分野から幅広く注目されました。



また10月4日から6日までインテックス大阪で『第20回関西機械要素技術展』が開催され、当社もファスナー、産機、制御システムの3事業部が合同で出展。締結分野でのトータルソリューションをプレゼンテーション。たとえば3頁でもご紹介している産機事業部の新製品「位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット」を、ファスナー事業部の「頭部刻印ねじ」とともに展示するなど、実演・体験コーナーを充実させ、当社製品を実際に目で見て、触れていただきながら、その優れた性能を実感していただきました。



そして10月11日から13日まで大阪南港ATCホールで開催された「LIVING & DESIGN2017」では、グループ会社である和光㈱と共同出展し、LED電球スピーカー「MUELIGHT」などをアピールしました。

さらに今後は2018年1月17日から19日まで東京ビッグサイトで開催される「第8回クルマの軽量化技術展」にも出展を計画しており、当社注力分野である自動車業界に向けての用途拡大、クルマの重要保安部品へのゆるみ止めねじ採用…セルフタップ化など、当社製品の性能の優位性を強く訴求してまいります。

2017年は9月に韓国支店を開設。今後、アメリカの



支店を現地法人化し、また、12月にはインドネシアに新たに第2工場を稼働させるなど、当社ではグローバル展開を加速させておりますが、展示会

においても、国内だけでなく海外で開催されるものにも積極的に出展し、日東精工の高い技術力や優れた製品をアピールしてまいります。

●国内

日時	名称	会場（都道府県）	出展製品
9月28日～29日	Aqua KANSAI 2017	グランフロント大阪（大阪府）	マイクロバブル生成装置
10月4日～6日	第20回 関西機械要素技術展 (M-Tech関西)	インテックス大阪（大阪府）	ゆるみ止めねじ、軽量化支援ねじ、GSL&PM製品 位置補正カメラ搭載ねじロボ、NXドライバSD600T バブ・リモ ー槽型、マイクロバブル生成装置
10月11日～13日	LIVING & DESIGN 2017	大阪南港ATCホール（大阪府）	MUELIGHT バルコニー用タイル、サンタリー製品（和光）
10月18日～20日	モノづくりフェア2017	マリンメッセ福岡（福岡県）	3事業部製品
11月20日～22日	IFFT／インテリア ライフスタイル リビング	東京ビッグサイト（東京都）	MUELIGHT バルコニー用タイル、サンタリー製品（和光）
11月29日～12月1日	2017洗浄総合展	東京ビッグサイト（東京都）	マイクロバブル生成装置

●海外

日時	名称	会場（国・都市）	出展製品
10月11日～13日	MTA HANOI2017	Hanoi International Center for Exhibition (ベトナム・ハノイ)	アブスロック、ギザタイト、 タップタイト2000+フリックス、精密ねじ フィードマットFM503H、昇降サポートアームドライバ
10月24日～26日	The Assembly Show 2017	Donald E. Stephens Convention Center (米国・イリノイ州)	位置補正カメラ搭載ねじロボ、 NXドライバSD600T、単軸ねじ締め機FM513V、 多軸ねじ締め機FM5000 ギザタイト、タップタイト2000+フリックス

日東精工は「ESG」にもしっかり向き合っています

近年は「ESG投資」という考えが広まっています。企業業績や投資基準を財務情報だけで判断するのではなく、E（環境）、S（社会問題）、G（ガバナンス）にも注目しようというものです。

日東精工では創業の早い段階から「行動規範」を設け、そのなかで「法令順守」「環境保全」「社会貢献」をしっかりと謳っており、社員手帳にも掲載しています。とくに近年は環境保全への取組みを企業経営の最優先事項の一つとして位置づけ「私達は、環境にやさしい企業を築くため、みんなで努力して行動します」をスローガンに、地域環境と地球環境を念頭におき、地球温暖化防止、環境負荷と環境リスクの低減に努めています。

軽量化＝環境にやさしい工業用ねじを開発した



り、1頁でも紹介しているように化学合成物質を使わないマイクロバブル洗浄装置「バブ・リモ」などの製品開発を通しての環境配慮はもちろん、社員への環境教育にも力を入れており、内部監査だけでなく、外部監査&認証も受けています。

河川清掃・整備や人工林の間伐など社員の社外でのボランティアも人事評価に組み込む制度を設け、全従業員が環境を意識する職場環境をつくっています。

毎年、会社として高い数値目標を掲げその達成・未達成を「環境報告書」にして開示。環境報告書をホームページからご覧いただけるようにしています。2016年版環境報告書は

<https://www.nittoseiko.co.jp/csr.html>
をご参照ください。

位置補正カメラ搭載ねじロボの開発で 多品種少量生産の現場を大きく変える

当社では昭和40年に国内初の自動ねじ締め機を開発して以来、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ締めドライバ、ねじ供給機など締結に関する省力装置を手がけ、世界中の組立現場をサポートしてきました。厳しい品質管理を要求される自動車関連をはじめ、家電、OA機器、住宅設備など幅広い分野で活躍しています。これまで多品種少量生産の現場においては、ねじの位置決めの自動化は、導入コスト面から進みにくい状況がありました。しかしこの度、補正カメラの搭載をオプションとしたYθ型ロボットを開発。手作業ラインにも簡単に導入でき、品質向上に大幅に貢献できる「位置補正カメラ搭載ねじロボ」として10月1日から受注を開始しました。当社では今後お客様の要求に真摯に向き合いお客様満足度120%を目指してまいります。



マイクロバブル生成装置シリーズを 10月に新発売

当社のマイクロバブル洗浄装置「バブ・リモ」は金属や樹脂製品の加工後の洗浄やメッキ処理前洗浄など工業用分野において、有機洗剤を使用しない環境面でのやさしさから高い評価を得ておりますが、この度、マイクロバブル洗浄装置の基幹技術であるマイクロバブル生成機構単体をユニット化した「マイクロバブル生成装置シリーズ」を開発、2017年10月17日より販売を開始いたします。

生成流量に応じた4つの標準機を用意。高濃度のマイクロバブル生成だけでなく、省スペース化、外部による自動運転、シンプル設計で簡易な運転操作などを可能にする。なお他機種「MU-130I(S/N: No.3)」は一般社団法人フライングバブル産業会より国内第一号となる製品サンプルの認証を取得。自動車分野などでの伸長が期待大。



2017年12月期第2四半期 決算説明会を開催

2017年8月29日、東京日本橋の日本投資環境研究所9階ホールにて第2四半期決算説明会を開催しました。当社売上7割近くを占めるファスナー事業が2桁の

伸長であること、協栄製作所の子会社化により、住宅・建築向けが伸長し事業拡大に貢献したこと、そして韓国支店開設やアメリカ支店の現地法人化などグローバル化が加速していることなどを代表取締役社長 材木正己がパワーポイント資料を使いながら報告・説明いたしました。



※第2四半期決算短信および第2四半期報告書は当社ホームページで開示しています

「え？ そうなんだ」がいっぱい。 「ねじのあれこれ」を発信。

『「ねじ」って知っている？』と聞くと、小学校前の未就学児でも「うん」と答えるでしょう。それだけ「身近で大切なねじ」なのですが、人がふだん酸素（空気）の大切さを意識しないように、ねじについてあれこれ考えることは少ないものです。

たとえば「ねじにも男と女（雄ねじと雌ねじ）がある」「なぜ緩まないのか」といったねじの基本や最先端をわかりやすく紹介していくためブログで発信しています。投稿記事とイラスト作成者は20代の新しい力です。皆さんの意見や感想が励みになりますので、ぜひご覧いただき、ご意見をお聞かせください。



<https://www.nittoseiko.co.jp/nitto-blog/category/neji>

「名前のない家事」ってご存じ？

～表に現れないたくさんの仕事にも目を向けよう～

先日、NHKニュースで「名前のない家事がツイートで話題になった」と紹介されていました。名前のない家事とは、洗濯、掃除、料理といった大きな括りではイメージされにくいもののことだそうです。

たとえば「シャンプーや洗剤、トイレトペーパーが切れそうになったらきちんと補充する」「ゴミ箱に入れたごみ袋が満杯になったら新しいごみ袋に替える」「冷蔵庫の賞味期限切れのものをチェックする」「製氷器に定期的に水を足す」など挙げていけばきりがありません。もちろん、夫婦で家事分担をしている方もいるでしょうが、主婦（夫）が大変であることを再認識させられました。

これは仕事（ビジネス）にも当てはまりますね。会社の中には、一般に生産、開発、営業、企画、管理などさまざまなセクションがあり、そこにはそれぞれ「名前のない仕事」がたくさんあります。各部共通のものもあるでしょうし、そのセクション特有のものも多いでしょう。自分の知らないところ（他部署）には自分の知らない「名前のない仕事」がたくさんあるのだと理解を深め、また自分が日々行っている「名前のない仕事」を他の人にも知ってもらおう努力をしたいものです。

「これまで名前のなかった仕事」に新たに名前をつけてみると、案外、効率アップにつながるかもしれません。そして当たり前と考えているものの裏側には、自分ではない誰かがそれをやってくれていると思いを馳せましょう。そうすれば、互いにそれぞれが尊重し助け合う風土が生まれるはずです。

先日、NHKニュースで「名前のない家事がツイートで話題になった」と紹介されていました。名前のない家事とは、洗濯、掃除、料理といった大きな括りではイメージされにくいもののことだそうです。



このコラムは当社日東精工の人財教育に約40年携わっていただいた経営コンサルタント蒲田春樹氏が監修した言葉や教えを経営企画室で再編集して紹介するものです。なお、当法人財教育を一般向けにまとめた「人生のねじ」を巻く77の教え（ポプラ社）も版を重ね、国内だけでなく海外版も発行されています。



「あい」のある学習

「あい」という言葉の響きを耳にして「愛」という字を思い浮かべる人は多いかもしれません。あるいは自分らしさ、個性を大事にするというところで英語の「アイ」という文字を当てはめる人もいます。

日東精工本社のある綾部市では教育委員会が小・中学校で学ぶ子どもたちに「質の高い学力」を身につけさせるため、「あい」のある学習を提起しています。大まかに説明すると、認めあい、聴きあい、伝えあい、助けあい、悩みあい、励ましあ

ねじのある街・あやべの魅力

「あい」という言葉の響きを耳にして「愛」という字を思い浮かべる人は多いかもしれません。あるいは自分らしさ、個性を大事にするというところで英語の「アイ」という文字を当てはめる人もいます。

い、喜びあい、競いあい、高めあい……などを通して学習基盤や学習姿勢を確立し、質の高い「あい」を求めるものです。I（私）だけでなく相（あなた）もあり、もちろん、その間には「愛」があるというものです。先生が上から教えこむだけでなく、子どもたちが主体をもって自分たちで学ぶ場を設けようという試みは、全国いろいろなところにあります。『あい』のある学習と名づけているのは綾部市独自、まさに「あやべスタイル」です。

ねじ大好き！

コラム

4歳の子どもにねじの大切さを伝える

この欄ではこれまで「ねじ」が登場したり、テーマになっている書籍をご紹介してきましたが、雑誌「かがくのとも」のバックナンバーで、そのものズバリ「ねじ」を発見しました（2015年12月号）。

「かがくのとも」は福音館という老舗児童書出版社が4～5歳児向けに毎月発行しており、この月刊誌で好評だったテーマはその後、絵本化されることもあるようです。

ねじの大切さを、これからの世代、小さな子どもに伝える冊子（雑誌）ですので、当社でも早速まとめて購入して、図書館や学校関係へ寄贈することにしました。書店を通じて購入することができます。



http://www.fukuinkan.co.jp/maga/detail_kagaku/